

ことばのテーブル 100枚プリント

解説

第9集 連語練習ワーク

ことばのテーブル100枚プリント第9集「連語練習ワーク」をお買い上げいただき、ありがとうございました。この教材は、二つの単語を連結した文表現＝**連語**を学習する教材です。さまざまな連語に触れることによって、会話表現能力や、助詞の役割理解を、高めて行くことを目的とした教材です。

【構成】※「問題リスト1・2」参照のこと。◎問題は全100問で構成されています。

●問題は、動詞述語文が中心ですが、名詞／形容詞述語文・名詞句も含まれています。

●問題は、おおむね、平易な表現から難度の高い表現へ進むように配置されています。

* 難易度の基準としては、以下の条件が挙げられます。

A 動詞の親近度 日常使用頻度：高→低へ（例：「食べる・洗う・寝る」等→「干す、落とす」等）

B 文の種類・構造 通常の動詞および名詞述語文→態をとるもの（受身・使役）／授受表現／複文等へ

C 文法依存度 日常的によく使われ、状況依存が高い文→非日常的（物語的）文脈で使われ、正確な文法（助詞）理解が必要な文へ（例：「ごはんを食べる」「学校に行く」等→「バナナが切る」「ラップで叩く」等）

【使い方】※「使用例」参照のこと。

(1) 各問題のテーマとなる連語表現が、たずねる形で提示されています。（例：「なにをたべる？」など）その質問文に回答する形式で、左側のイラストに示されている状況を、文章化します。（文章化にあたっては、それぞれのイラストを比較・参照して、状況の異なる部分を洞察し、言語化する必要があります。）

* イラストの右側の空欄に、目的語もしくは主語となる単語を記入し、その横の小さな枠に、テーマとなる連語表現の助詞を記入します。※連語の述語部分は、3問目まではあらかじめ記入されています。

(2) 最後の4問目は、解答者が自分で連語をつくる問題です。

* 各テーマと合致するような、適切な事柄（事物名や状況）を描画し、それを、1～3問目までに習って、連語表現として文章化します。※4問目は連語の述語部分も記入します。

※解答は掲載していません。プリントに描かれている事物や事柄の言語化にあたっては、テーマとなる表現に合致し常識的に妥当なものであれば何でもよいと思います。（例：問題10「どこで歌う？」で、海のイラストに対しては、「うみ」でも「すなはま」でも「かいがん」でも良い。しかし、「ひとり」（で）などの解答は、文としては成り立つが、テーマ（場所と動作の関係）から外れるため、他のイラストとも合わせて、場所に注目・言語化させる。）

【対象】この教材を開始するにあたって、お子さんに以下の能力が必要です。

① 文法能力に関して：2語連鎖程度の言語理解力が望まれます。

② 語彙能力に関して：日常生活事物や事柄についての、一定の語彙能力（理解力や想起能力）が必要です。

③ 書字能力について：特殊表記も含めたかな単語の書字・読字能力が必要です。

※イラストに文字を添え、書写による解答も可能です。また、音声言語のみでの表現練習も可能です。

【この教材の目的】① 連語表現の拡大：日常生活で親近度の高い連語表現を練習します。

② 助詞の存在への気づき・注目：助詞の記入・音読を通して、その存在への気づきを促します。

③ 助詞の役割理解：状況依存的表現から、一般的な文法規則への移行を促します。

④ 可逆事態の学習：受動態や使役態、授受表現などの可逆事態を、連語の形態で学習します。

⑤ 描画の練習：事物・状況の描画表現を練習します。

☆ ことばのてーぶる100枚プリントについて

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルでは、この教材集を指導室での学習や家庭で行うホームワーク教材として使用しています。

※教材集の無断複製・販売は、ご遠慮ください。

葛西ことばのテーブルは、発達障害や言語障害の方のための学習室です。

≪企画・製作 言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル≫

●企画・制作 三好純太 <http://homepage2.nifty.com/kotobanotable/>

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-1-3 第6山秀ビル301

TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail: QYT07571@nifty.ne.jp

□この教材集に対するご意見・ご感想・ご要望をお聞かせください。